

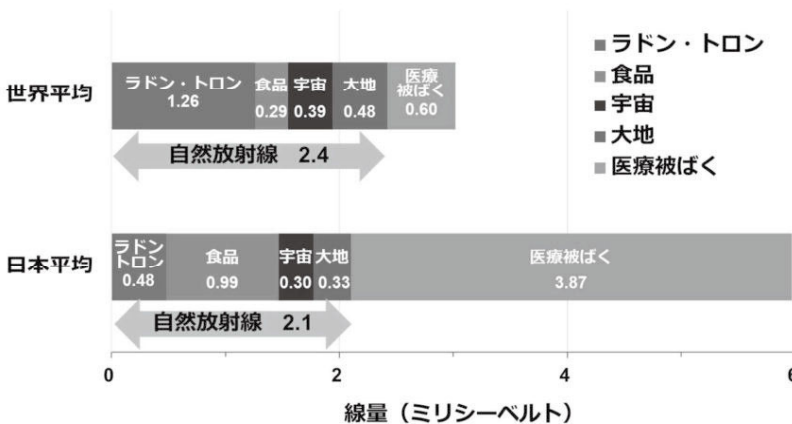


放射線の基礎知識（身の回りの放射線について）

みなさん、身の回りに放射線があって、ゼロにはできないことをご存じですか？

放射線は福島第一原子力発電所の事故により環境中に放射性物質が放出されましたが、地球誕生の時から自然界に存在しています。想像がつかないほど昔から放射線と共存しているのです。

日常生活における被ばく（年間）



出典：国連科学委員会（UNSCEAR）2008年報告、（公財）原子力安全研究協会「生活環境放射線」（平成23年）より作成

放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成 30 年度版を一部改変

上のグラフをご覧ください。放射線には、自然界に存在している「自然放射線」と、病院でのエックス線（レントゲン）撮影などの医療などに利用されている「人工放射線」があります。日本で生活する私たちが、1年間に受けている自然放射線からの被ばく線量の平均は、宇宙から0.3、大地から0.33、呼吸（ラドン・トロン）から0.48、そして食品から0.99ミリシーベルトの合計2.1ミリシーベルトです。また、人工放射線の線量の平均は約3.9ミリシーベルトになります。人工放射線は医療で利用されている他に、農業分野、工業分野などで利用されています。

放射線は同じ期間に同じ量を受けるのであれば、それが、人工放射線によるものでも、自然放射線によるものでも人体への影響に違いはありません。放射線が人の健康に及ぼす影響は、放射線の有無ではなく、その量に関係していることが分かっています。